

みどり
と
ひと

脇田祥子さん
CHECK&STRIP
吉祥寺店 店長

大正通りの2本の木の話



大正通りを吉祥寺駅方向から少し入ると、白い窓枠と店先の2本の木が目印の瀟洒な店がある。リパティブリントや天然素材にこだわった布地を販売するCHECK&STRIPEだ。

入り口に向かって左側の木はフェイジョア。平成24年4月にオープンした時に自由ヶ丘店から移植したものだ。6月になると赤いおしべの花をたくさん付け、その花を見た方から、名前を尋ねられることも多い。3～4年前に近所のお店が同じフェイジョアを植えて以来、実もつけるようになったという。しかしまだ熟すまでには至っていない。

向かって右側のゲッケイジュは鉢植えだが、今年初めて鳥が巣をつくり、ひなが巣立っていった。何かいいことがありそうね・・・とスタッフで話しているそうだ。「巣の跡が残っていますのでぞいてみてください!」と店長の脇田さん。ちょっと立ち寄り、幸せ気分を味わいたい。



季節の草花がいけられ
こちよい光が入る窓辺

CHECK&STRIPE 吉祥寺店
<http://checkandstripe.com/>
武蔵野市吉祥寺本町2-31-1
山崎ビル1F

むさしの 緑・環境の情報誌
みちまちみどり Vol.32

発行 / 武蔵野市
制作 / 一般社団法人グリーンボード
商用・非商用を問わず、無断転載、複写、転用を禁じます。

むさしの 緑・環境の情報誌

み ま み ど ち ち り

Vol. **32**
2019 autumn

特集

みどりを
デザインする。



表紙
「キジバトとソメイヨシノ」
木部一樹



武蔵野スタイル 私の庭

野鳥や蝶、 トンボが集まる

小さな庭

◎寄稿 中村滋（なかむらしげる）

中村滋プロフィール

1944 年武蔵野市生まれ。祖父は成蹊学園創設者・中村春二。大学卒業後小学館入社、ビッグコミック創刊メンバーでコミック編集に 15 年携わった後、アウトドア誌 BE・PAL、ビジネスマン向け DIME、中高年誌サライをそれぞれ創刊。現在、シニアに歳の忘れ方を提案するウェブマガジン「クールシニアマガジン」の編集人。
<http://www.csmagazine.jp/>

武蔵野市は緑に恵まれています。特に成蹊学園の西の吉祥寺北町周辺は、点在する公園が、ユリノキ、フソウ、スズカケ、カエデ、モミノキなどの樹木名になっているのを見てもわかります。そしてサクラ、コブシなどの花、ケヤキ、スズカケ、カエデなどの落葉樹を植えた並木道や小路が縦横にあり、春の花から秋の紅葉まで四季を彩ります。

たまたま、そんな緑に囲まれたマンション1階に住むことになり、南向きの陽あたりの良い庭から離れられなくなりました。庭にはハナミズキや柚子、金柑、レモンなどの柑橘系(これらは蝶を集めるバタフライガーデン用)、黒文字、山椒を植え、中央には小さな池を埋め込んでビオトープの真似事もしました。

こんなわずかな“みどり”でもシジュウカラは巣を作り、多くの野鳥が訪れ、カナヘビ、イモリなどの爬虫類が棲みつぎ、キアゲハや今や東京で一番見かける蝶といわれるツマグロヒョウモンも来ます。

そんな吉祥寺のナチュラルライフを楽しんでいたのですが、庭の排水管工事ため、全面的にガーデニングをやり直すことになりました。まず全面レンガ敷きにすること。年齢的に雑草取りが面倒というのが理由ですが、雨で泥ハネがなくベランダが汚れず、蚊も少なくなりました。欠点は日照りが強いと照り返しがあることで、そんな日は打ち水をします。

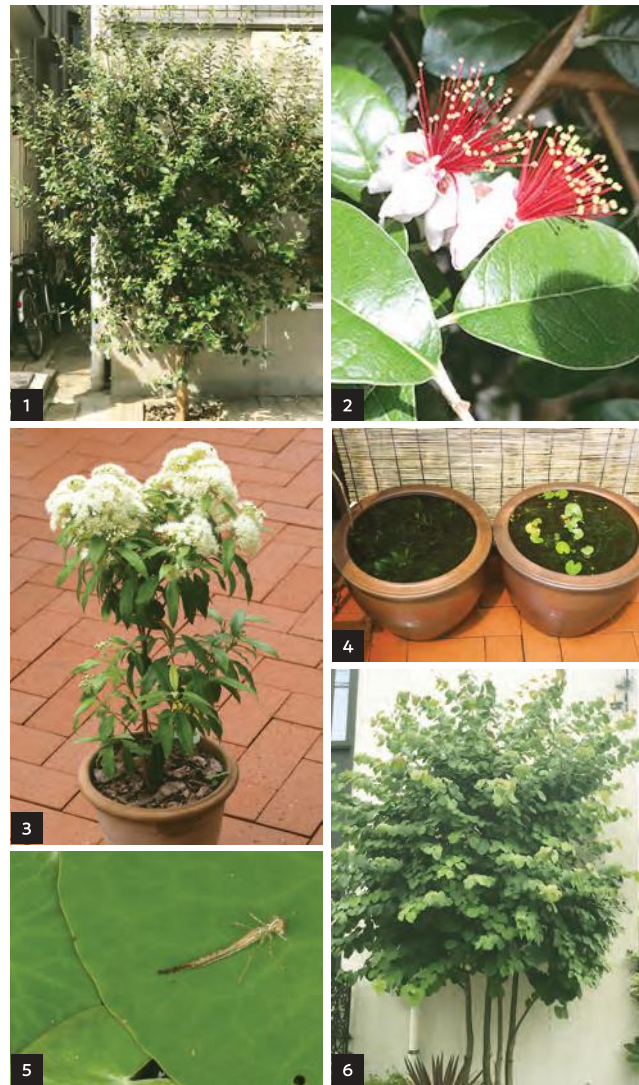
庭木は大きな植木鉢に入れて並べることにしました。庭木向きの「低中木」で武蔵野の環境に合う樹種を、並木道や住宅街を歩きながら探しました。日除け、目隠しになり、手入れの楽な常緑樹をメインに、紅葉のきれいな落葉樹も。鉢植えだと成長も遅く、大きくならないのが狙いです。

選んだのはフェイジョアという南米原産の常緑樹で、エキゾチックな花も美しく、フトモモ科なので実も付く可能性があるそうです。もう一つはマルバノキ(マンサク科)で、新緑の青紅葉(不思議に夏過ぎまでこの色が持続)と紅葉が美しいハート形の葉の優しい木です。あとは最近人気のオリーブとかホンコエンシスという常緑のヤマボウシも考えましたが、今回は見送りです。90度あじろ貼りというレンガ敷きを造園業者に頼んで、すっかり洋庭になりました。

池は大きめの睡蓮鉢に移し、キンギョモと言われる水草を3種(日本固有種のマツモ、ホザキノフサモ、クロモ)を入れ、ボウフラ対策でメダカも泳いでいます。

庭やベランダにわずかな樹木、草花、それにバードバスや睡蓮鉢などの水辺があると、一年中シジュウカラ、メジロ、ヒヨドリ、キジバト、オナガ、コゲラやシオカラトンボ、スジグロチョウ、キアゲハが訪ねてきます。武蔵野は緑道や公園が多いせいかもしれません。成蹊の森、井の頭、遠くは小金井公園もありますし。

長くアウトドア雑誌の編集長をやったということもありますが、年を重ねて家で過ごすことが多かった今日この頃、植栽や水辺造りで自然を呼んで、季節の変化を楽しんでいます。



1 2エキゾチックなフェイジョアの花。吉祥寺の北欧通り※のチェック&ストライプという生地店の前にあります。**3**レモンよりも強い香り成分があるというレモンマートル、最近人気でハーブティーとして利用できます。**4**このわずかな水にもシオカラトンボが来ます。メダカは最初のうちは採取に出かけましたが、最近のメダカブームでデパートのペットショップにもあります。**5**イトトンボ(たぶんモノサシイトトンボ)の抜け殻が、ガガブタ(ミツガシワ科の水草)の葉の上にありました。**6**マルバノキはムーバスが通るスズカケ小路に何本があります。



※北欧通り…吉祥寺本町にある大正通りのこと。北欧雑貨店などが多くなり北欧通りと呼ばれるようになった。

Autumn
2019

—
TREND
now

流行りの花木を 植えてみる。

- オーストラリアの植物 -

武蔵野の気候も変わり、夏の酷暑や雨量が多くなった。また庭の管理をする方々も高齢化で管理が課題となっている。そんな個人の庭で密かに人気になっているのがオーストラリアを起源とする植物だ。

02.

シジギウム
ブッシュチェリー



屋内でも育てられる。直射日光に当てない方が、葉の色が濃くなる。ショッキングピンクの実になる。

03.

コーストバンクシア両筑



両筑オリジナルのバンクシア。1枝だけ斑が入ったものを見つけ、接ぎ木と挿し木を10年間繰り返して販売に至った。

04.

ヘアピンバンクシア



細長い葉が目立つ。通気性と水はけの良い土を好む。日なたで管理し、リン酸が多い肥料は避ける。

05.

キサントステモン



屋内でも育てられる。鮮やかな黄色の花が咲き、新芽も赤色できれい。

06.

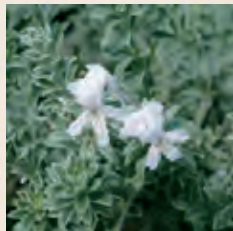
カリステモン
ロッキークランブラー



匍ふくタイプが珍しいカリステモン。耐寒性、耐暑性ともにあり強健。

07.

ウェストリング
モーニンググライ
ト



ローズマリーに似ているが食用にできない。剪定をしてトビアリーに向く。初心者向け。

08.

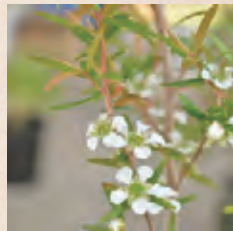
シマトネリコ
ラフロ
ーラ



オーストラリアのナーセリーから導入した斑入りのシマトネリコ。緑葉のシマトネリコと比べると低く育つ。

09.

レプトスペル
マム
レモン
ティ
ツリー



ティーツリーの一種。葉をちぎるとレモンの香りがする。1年を通して水を与える。初心者向け。

01.

グレヴィレア
プー
リ
ン
ダ
ローヤル
マン
トル



枝垂れるタイプで珍しい。通気性と水はけの良い土を好む。日なたで管理し、リン酸の多い肥料は避ける。

(株) 花門フラワーゲート
クリエイティブチーフプランナー
内藤陽一さんに伺う

コビス吉祥寺のデッキやベニーレーンの植栽管理をし、長年個人の庭のアドバイスの経験がある(株) 花門フラワーゲートの内藤陽一さんに最新の庭木のトレンドを伺った。

Q1 庭に植える花木の
最近のトレンドは？

まちの風景や家のデザインとともに庭木も変化しています。最近では常緑で形がコンパクトな樹木に人気があり、景観に溶け込むモダンな雰囲気、育てやすい樹木が好まれます。

Q2 庭木の管理で
寄せられるお悩みは？

落葉の掃除や剪定、病虫害の駆除などの対処に困っている方が多いと思います。特に高齢の方から管理の楽な樹木へのお問合せが多くなっていると感じています。

Q3 外国産の花木が人気と
聞きますが、その魅力は？

オーストラリアの東南部に生息するオーストラリアプラントは人気上昇中です。種類も非常に多く、市場にもたくさん出回ってきました。日本の気候にも適応しやすく、珍しい花や樹形が魅力です。特に4番のバンクシアなどは生花やドライフラワーにも使えて万能な植物です。

Question & Answer

庭のことで悩んだら
専門家に気軽に相談してください！

Q4 庭を新しくする際の
アドバイスは？

地植えの場合は植え直しをすると、根痛みで枯れてしまうことがあるので慎重に。鉢植えは移動できますが、細やかな水の管理が必要になります。一度、豊富な知識と経験を持った園芸の専門家相談をしてみることをお勧めします。環境にあった樹種や提案、またお悩みの改善をしてくれると思います。

Q5 ペニーレーン(コビス吉祥寺の間の道)の
緑が評判ですが？

ペニーレーンはさわやかな緑と自然に触れ合う「やさしい通り」を心がけています。まちの散策の合間にみどりに囲まれ、ベンチでちょっと休んでいただき、多くの方に都会の中の安らぎの「ひととき」を満喫していただいているようです。植栽は手を入れ過ぎて不自然にならないよう特に気をつけています。

Penny Lane



苗木や育て方の質問は
(株) 花門フラワーゲート (<https://www.flowergate.co.jp/>)

両筑プランツショップ／両筑デザインプランツ (<https://ryochiku-plants.jp/>)
にご連絡いただければご協力いただけます。

花木の紹介は両筑デザインプランツのものを参考にさせていただきました。また植物の写真もご提供いただきました。外国産花木は庭木として植え、生物多様性に配慮し管理することが大切です。

みどりのデザイン 花壇の色彩

センスのいい花壇や寄せ植え
をつくりたい。そこで、公共空
間の色彩の専門家である武蔵
野美術大学吉田慎悟教授に
パリの花壇を例に、ヒントを
いただいた。

吉田 慎悟 (色彩計画家) プロフィール

1949年生まれ 武蔵美術大学基礎
デザイン学科卒業後、向井周太郎
デザイン研究室勤務。1974年渡
仏、ジャン・フィリップ・ランクロ教
授アトリエで環境色彩計画を学
ぶ。現在、武蔵野美術大学教授。
カラープランニングコーポレーショ
ンクリマ代表取締役、カラープラン
ニングセンター相談役。



初秋のパリの花壇

モザイク処理したパリの花壇を見てみると...
こんな色が使われていることがわかります



パリと日本の 花壇の違いは？

パリの公園などで見る花壇は、日本とはどこか雰囲気
が違うと多くの人が言う。

秋なら、たとえばマロニエやユリノキの黄葉の下に、様々
な色合いの花や葉が思い思いに咲き乱れているが、全体
として見るとまとまりがあり奥行きを感じさせる。

ご自身もパリの花壇に魅せられたという吉田慎悟先生に
その印象をうかがった。

「パリの花壇の特徴は、様々な植物の個性を生かしなが
ら、実は隅々まで計算して配色されているところにあると
思います。西洋音楽のようにハーモニーで全体をつくりあ
げていく感覚ですね」。

日本では花壇のある空間全体を見るのではなく、花が
目立つデザインが多い。それに対してパリの花壇では、全
体としての構成を大事にすることで、印象派の絵のように
複雑で奥深い色合いが生まれる、ということだろうか。

そうした感覚はどこから生まれるのだろうか。

「パリには色合わせを大切にしている文化があるのだと思
います。子どものころから配色にはとても気を使います。服
を買う時には、布のハギレを持って店に行き、色合わせを
試してみます。流行やブランドではなく、個性的な組み合
わせて自分なりの斬新な美を生み出すことに敏感です」。



1

ところで、色とりどりに咲き誇る花々も、かつてはみな
緑色だったという説があるそうだ。

長い進化の歴史の中で様々な色や形が生まれ、他の生
物の注意を引き、私たち人間を魅了することで植物は繁栄
してきた。

最近園芸の世界では葉もバリエーションが増え、グリー
ンの他グレー、シルバー、ブロンズ、ブラウンなど様々
な色が楽しめるようになった。そしてそれらを野にあるよ
うに一見ランダムに植えるナチュラルな感覚のデザインも
流行っている。

印象派の画家たちが自然の光や色から多くを学んだよう
に、花壇も自然から学ぶことが多いということなのだろう。



2

井の頭池がモネの睡蓮の絵のよう…

かいぼりをした井の頭池では光が差すと水面が透
明に輝き、水草が美しい。空の青さも映り込み、し
ばし絵画の世界に入り込んだようと話題になった。

写真は夕焼けのひょうたん橋から西に向かって池
を眺めた。水草はツツイトモ（環境省レッドリスト・
絶滅危惧Ⅱ類）という。地底で眠っていた埋蔵種
子や胞子がかいぼりによって休眠から目覚めたとい
われている。



3





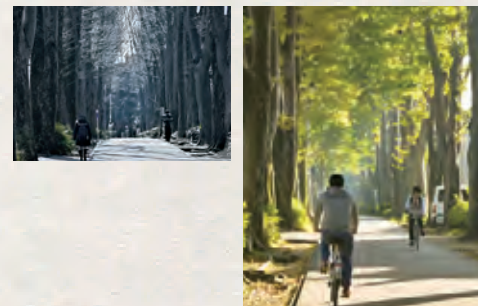
世界的に関心が集まる 「持続可能な社会」の担い手を育てる教育 地域と連携する成蹊学園の活動とは

1924年に現在の地に移転して以来95年。その自然豊かなキャンパスで武蔵野市民に親しまれている成蹊学園。気象観測や天体観測、小学生の畑など実験実習を重視するユニークな体験教育が広く知られている。さらに2018年4月からは「サステナビリティ教育研究センター」ESD (Education for Sustainable Development)」を起ち上げ、国内外の研究機関や企業や地域に発信、連携して活動の幅を大きく広げている。

その内容は宇宙に関するシンポジウムなど壮大なものから、

スパイスや塩や野菜を育て収穫して調理、それを盛る皿まで作る「1からのカレーづくり」や、吉祥寺での養蜂活動「ハニカムプロジェクト」といった身近なものまで、大人も子どもも参加したくなる魅力的なプロジェクトが盛りだくさん。

中でもとくに武蔵野市民に身近な活動が「けやき循環プロジェクト」である。成蹊学園のシンボルであるケヤキ並木は、樹齢80年をこえるケヤキが100本以上。市の指定文化財であるとともに環境省の「残したい日本の音風景100選」にも指定され、市民にとって貴重なオアシスとなっている。



けやき循環プロジェクトとは？

どんな活動をしているの？

成蹊学園のケヤキ並木の落葉を活用して循環する仕組みを作る活動。地域の人々にも愛されるケヤキ並木だが、一方で落葉が近隣の住民に負担になるなど課題も抱えている。そこで学園の児童や学生、教職員がケヤキの落葉や枝を集めて活用することで自然の循環を学びながら、さらに地域のイベントを通して学園内外での交流を広げている。

大学生と教職員が花の植え替えにつくったたい肥を利用する。



堆肥をつくってまく

花を育てる



落葉を集めて堆肥をつくり、小学校の農園にまく。

落葉集め



小学生、大学生、教職員による落ち葉集め。

枝で工作



剪定したケヤキの枝を使って工作。けやきコミュニティセンター「けやきまつり」で。

落ち葉で焼き芋！



落葉を利用して小学生が焼き芋づくり。

むさしの インフォメーション

武蔵野市役所 環境部各課からのお知らせ

環境政策課 | ☎0422-60-1841

エネルギー地産地消プロジェクトを進めています

現在、クリーンセンターのごみ焼却によって作られた電気は、市庁舎や総合体育館、緑町コミセンなどで使われています。しかし、電気は通常ためておくことができないので、昼間の使用量が多い時間帯に不足し、夜間の使用量が少ない時間帯には余ってしまうこともあります。

そこで本プロジェクトでは、余った電気をためておき不足時に使うことができる蓄電池や、電気使用量の過不足を予測し最適化を図る仕組み【CEMS(セムス): 地域エネルギーマネジメントシステム】を導入し、エネルギーの地産地消を推進します。これを通じて、地球温暖化の原因となるCO₂の削減に取り組んでいきます。

ごみ総合対策課 | ☎0422-60-1802

「フードドライブ」を実施！

11/10(日)の環境フェスタにて「フードドライブ」を実施します。フードドライブとは、皆さまのご家庭で使用せず、保管されたままの食品をご提供いただき、福祉施設等に寄付する取り組みです。なお、ご提供いただきたい食品は、①常温保存品、②未開封かつ賞味期限が明記されているもの、③賞味期限が1か月以上先のもの、という3つの条件を全て満たしているものに限りま。食品ロス削減のため、ご家庭で使用する予定の無い食品があれば、ぜひお持ちください。

クリーンセンター | ☎0422-54-1221

食と環境のイベント「OPEN HARVEST」開催！

武蔵野クリーンセンターの見学者コースは、7月より、土日開館、火曜・祝日閉館となりました。また、毎週日曜日の午前11時から、屋上にある生ごみたい肥を使った菜園、廃材や空き地の土でつくられた草地の見学会も開催しています。(当日10時～受付、先着20名、雨天中止)

11月2日(土)には、食と環境のイベント「OPEN HARVEST」も開催！屋上で収穫した野菜の試食も予定しています。クリーンセンターにぜひお越しください。

武蔵野クリーンセンターホームページ
<http://mues-ebara.com/>



屋上にあるたい肥を使った菜園

下水道課 | ☎0422-60-1867

雨水タンク、雨水浸透ますの助成金について

近年、集中豪雨による浸水などの都市型水害が発生しています。このことから市では、浸水被害の軽減、水環境保全のため降った雨をゆっくり地中に浸透させる「雨水浸透ます」や、屋根に降った雨を溜めておき、庭の水やりや洗車、災害による断水時に使うことができる「雨水貯留タンク」の設置を推進しています。

新築、既設住宅ともに助成金制度がありますので是非ご活用ください。詳細については下水道課までお気軽にご相談ください。

※2019年(令和元年)10月から、クリーンセンターはごみ総合対策課に統合しました。

みちまちみどり VOL.32

2019年11月第1刷発行

発行 / 武蔵野市

企画制作 / 一般社団法人グリーンボード

編集 / 鈴木圭子、明石和美、牧野桂子、小出行観、横山哲也

編集顧問 / 中村滋

イラスト / 木部一樹

デザイン / ますだすみれ、守本悠一郎

武蔵野市緑のまち推進課からのお知らせ

「武蔵野市緑の基本計画 2019」を策定しました



緑の基本計画は、都市緑地法に基づく計画で、緑地の適正な保全、緑化の推進を総合的かつ計画的に実施するために策定するものです。平成19年度に策定した、「武蔵野市緑の基本計画2008」から10年が経過したことから、この間の緑をとりまく様々な動向に対応するため、学識経験者や市民などを交えた検討委員会で議論を行い、パブリックコメントやオープンハウスの実施を経て、「武蔵野市緑の基本計画2019」を策定しました。基本理念「緑は市民の共有財産」、将来像「緑の量・質ともに豊かな武蔵野市」を継承し、新

たに計画のテーマとして「日々の暮らしの中で緑を楽しむ」を掲げ、将来像の実現に向けて3つの緑の方針のもと、緑豊かなまちづくりを推進していきます。詳細は、武蔵野市ホームページをご覧ください。

武蔵野市ホームページ <http://www.city.musashino.lg.jp>
市政情報>施策・計画>環境部>緑のまち推進課 緑の基本計画2019



「みちまちみどり」 配布店舗のご紹介

「みちまちみどり」は、武蔵野市役所2階、緑のまち推進課、図書館、公共施設のほか協力店舗等でもお受け取りいただくことができます。なお、発行後一定期間を過ぎましたらその後は、緑のまち推進課のみでの配布となります。



ものづくり工房
つむぐと (hicobae改め)
武蔵野市中町1-28-10
営業日 毎週 月・水・金曜日
営業時間 10:00~15:00



マロン薬局 吉祥寺店
武蔵野市吉祥寺本町2-14-5
Saurus 吉祥寺101
☎0422-27-2518
定休日 木・日・祝日



フィール 吉祥寺
武蔵野市吉祥寺本町2-17-2
マリオンワン
☎0422-20-7555
定休日 火曜日
営業時間 曜日によって変わります。
<http://www.feel-online.com/>

お問合せ先

武蔵野市環境部緑のまち推進課

〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28

☎0422-60-1863

e-mail SEC-MIDORI@city.musashino.lg.jp



武蔵野市の環境まちづくりを
応援しています。

三井住友トラスト不動産株式会社
住友林業株式会社